

## 高尾山古墳(沼津市)

この工事中の道路は都市計画道路「沼津南一色線」/横切っている高架は東海道新幹線



これは振り返って南方向を見たところで、正面の高まりが高尾山古墳(別名 辻畑古墳)/この道路建設に先立つ発掘調査により3世紀前半に築造された東日本最古級の前方後方墳(墳丘長62m)であることが判明、230年ごろに墳丘が完成し、250年ごろに埋葬されたのではないかと推定されている/そのような重要な古墳が道路の通り道に存在しているわけで、古墳の撤去・消滅寸前で古墳の保存・道路の迂回ということになった



古墳の斜面が崩れないように土嚢で養生されているようだ



これは左手を見たところで、左手の新しい建物は元々古墳の上に鎮座していた熊野神社を道路工事に先立って東の隣接地に移したもの/正面は後方部で向こう(南方向)が前方部である/古墳を巡る周溝跡の様子も見てとれる



右手を見たところ



これが熊野神社の名残り/跡地を整地する段階になって、跡地の地下から古墳の遺構が見つかったのだという



北西側から南東方向を見たところ/この右手の道路を改善するために新たな道路が計画されたようだ



西側から東方向を見たところ/右手に社殿の屋根が見える





これはその道路を南側から北方向に見たところ/塀の上に後方部の墳頂が見えている



アップで見たところ



これは最初に見た計画道路が北から南のここへ繋がってくるはずだったところ/左手は改善するはずだった道路/右手は移された神社



この高まりに登って北方向を見たところ/前方に後方部の墳丘が見える/その手前が前方部



アップで見たところ



振り返って南方向を見たところ/前方の歩道橋のあるところは幹線道路で、そこへ計画道路が繋がるはずだったようだ



これが右手の移された神社/熊野神社と記された神額がある



山号は高尾山というようだ





これらが移された新しい社殿施設/左手はネットフェンスとなっており、古墳が良く見える



これはネットフェンス越しに後方部を見たところ/手前は前方部(かなり削平されてしまっているようだ)/古墳に伴う主体部は朱の敷かれた木棺で、内部から青銅器、鉄槍、鉄鏃、ヤリガンナ、勾玉などの比較的豊富な遺物が出土している、これらは弥生時代の社会構造を一変させる出土品だという



出土した土器からは北陸、近江、東海西部の各地域の勢力の関与が窺われ、被葬者との同盟関係も想定されるらしい/当時の政治の中心地として考えられている北九州や畿内だけではなく、東海地方の駿河においても強大な権力をもつ地域首長の誕生が想定され、各地域が関連する国家出現の実態をよく表しているという



これは東側から西方向へ「くびれ部」辺りを見たところ



これは「くびれ部」辺りから南方向へ前方部を見たところ



これは後方部を東側から西方向に見たところ/手前は周溝跡



周溝跡を南側から北方向に見たところ/周溝跡からは、古墳時代前期初頭(230年頃)の東海西部の土器(高杯、器台)が出土した

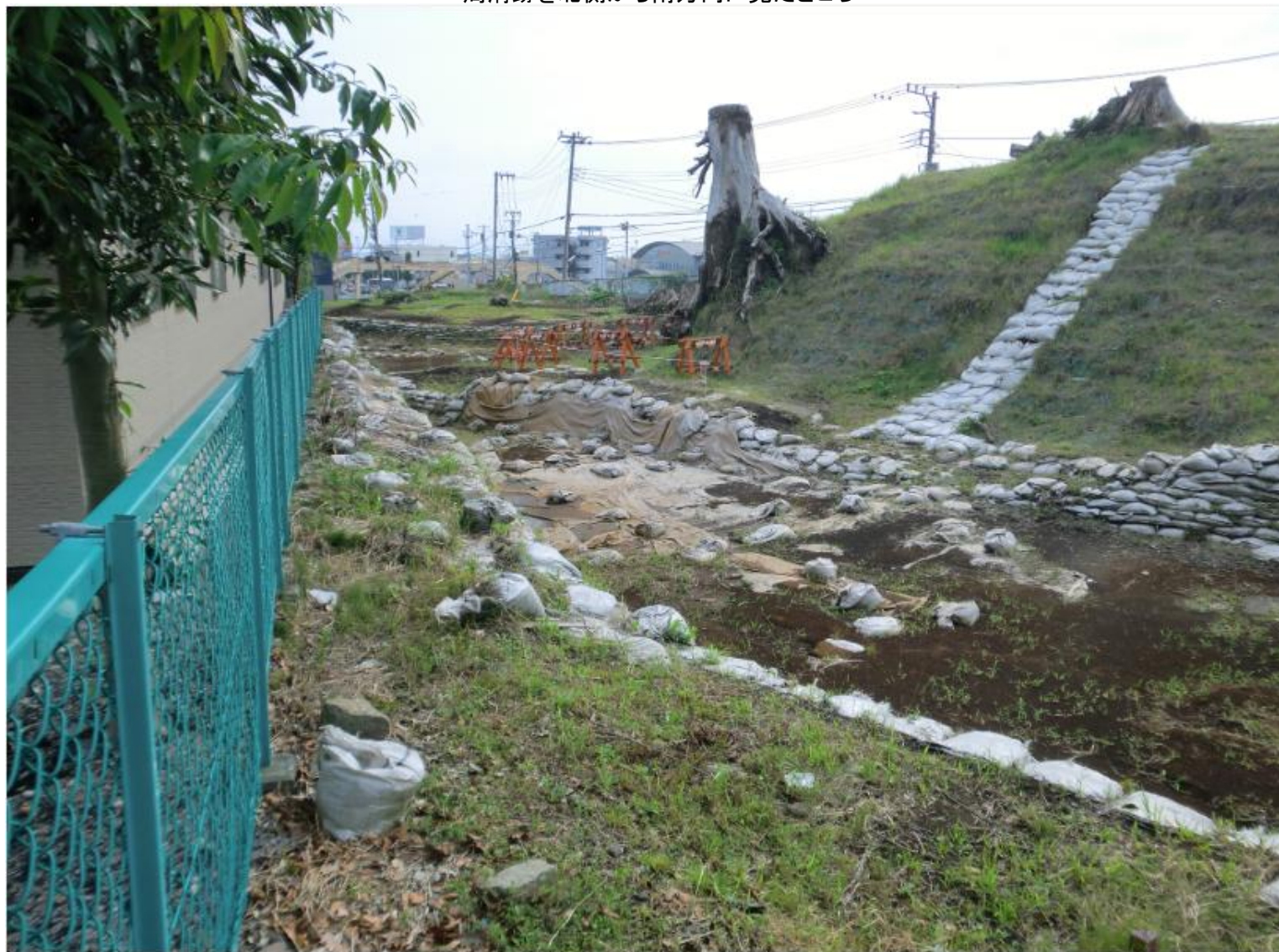


後方部の北側の周溝跡を東側から西方向に見たところ





周溝跡を北側から南方向に見たところ



参考ホームページ

[http://sgkohun.world.coocan.jp/archive/index.php/nmadu\\_takao/](http://sgkohun.world.coocan.jp/archive/index.php/nmadu_takao/)

<http://blog.livedoor.jp/shizuokak-izu/archives/4167615.html>

[http://www.shizuhan.jp/Historic\\_sites/numadushi/141031007.html](http://www.shizuhan.jp/Historic_sites/numadushi/141031007.html)

<http://archaeology.jp/maibun/yobo1205.htm>

[http://www.bell.jp/pancho/k\\_diary-13/2014\\_10\\_22.htm](http://www.bell.jp/pancho/k_diary-13/2014_10_22.htm)

